

平成25年度

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年 3月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2773000688		
法人名	株式会社ライフサポートジャパン		
事業所名	グループホームゆうとぴ庵大阪・淡路		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府大阪市東淀川区東淡路5丁目8番38		
自己評価作成日	平成26年3月16日	評価結果市町村受理日	平成26年6月25日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	http://www.kaigokensaku.jp/27/index.php
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション
所在地	兵庫県西宮市松風町2-5-107
訪問調査日	平成26年3月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>地域のハーモニカ演奏ボランティアの受入や地域行事への参加、またAED設置や小学校PTAが主催で行っている「こども110番」への登録等、地域とのつながりを大切にしております。本年度は地域の小学生、中学生たち(人と人をつなぐ紙芝居の会)による紙芝居をホームで実演していただき、ご利用者様にも好評でしたので今後も継続して訪問していただきます。食事については通常のメニューの他にリクエストメニュー等も取り入れ、ご利用者様の希望を取り入れ提供しております。今後も地域の皆様にも少しでもご理解して頂け、また愛されるグループホームになる様に色々な事に取り組んでいきたいと考えております。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>全館改装され窓からの採光・眺望も一層良くなったリビングは、ゆったりとしたスペースが確保され、落ち着いたある安心して過ごせる環境づくりになっている。フロアに、共用スペースもあり、その日の気分によって静かにくつろぐ事が出来るようになっている。自治会長を通して地域の行事や活動に利用者と共に参加し交流を持つようにしている。事業所の機能を、地域に十分理解、浸透を図るために、玄関に相談を受け付けていること等を掲示し、地域で必要とされる活動や役割を担えるように取り組んでいる。日常的には、建物周囲の植え込みの花を見たり、近隣のスーパーへの買い物に出かけたりしている。季節に応じた外出の年間計画も立て、季節を感じる事ができるようにしている。テレビの体操番組を利用して筋力低下予防に取り組み、外出可能な筋力の維持に努めている。利用者の状態変化時には、いつでもかかりつけ医に連絡をとり、相談し指示を受けたり、往診や救急搬送など適切な対応を受けられる体制が整備されている。年1回の胸部レントゲン撮影も行っている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>フロア会議(最低月1回)等で理念の共有と実践に向けて取り組んでおります。</p>	<p>法人の運営理念を基に事業所で話し合いを行い、年間目標を設定している。フロア会議の機会を活かして法人の運営理念に謳われている内容についても話し合い、実現に向けた取り組みを行っている。倫理及び法令遵守の研修の中で法人の運営理念の理解を深めるように話し合う機会も持っている。</p>	<p>法人の運営方針を基に、年間の目標をより具体的化し、全職員で目標達成に向け計画的に取り組むことで理念を実現していくことが望まれる。</p>
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会長を通じた交流や近隣ボランティアの受け入れ等を積極的に行っております。地域の学生による紙芝居なども取り入れています。</p>	<p>自治会長を通して地域の行事や活動に参加し、交流を持つようにしている。自治会長から地域行事の開催状況について紹介があり、利用者と参加できる行事やイベントへの参加の呼びかけを受けている。さらに、自治会長が中心となって活動している「人と人とを結ぶ紙芝居の会」にも参加している。小学生・中学生による紙芝居で交流も図られている。現在、地域の避難所としての登録を東淀川区と話し合い、調整を行っている。AEDを玄関に設置し、地域でも急変があれば使用してもらえるようにしている。事業所がグループホームであること、認知症ケアの専門職が揃っていることなどが、地域に十分に伝わっていないことがわかり、玄関に相談を受け付けていること等を掲示し、地域の理解を深めてもらい、地域で必要とされる活動や役割を担えるように取り組んでいる。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>『子供110番』の登録やAED設置の案内を玄関に掲示する事により近隣の方のご利用を促進しております。</p>		

4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている</p>	<p>基本的に偶数月の第 一土曜日に開催して おり、多数のご意見等 を頂戴し活用させて頂 いております。</p>	<p>家族代表者・自治会長・ 包括支援センター職員が 参加し、偶数月に定期的 に実施している。事業所 の活動内容の報告を行 い、参加メンバーから活 動に対する評価をして もらい助言や情報提供 を受け、サービスや運 営に反映させるように 取り組んでいる。毎年、 行政に年間の運営推進 会議の報告を指定の書 式で行っている。利用 者の利用費用に関する 相談、地域包括支援 センターの相談・助言 や自治会長からの地域 の情報提供を受け利用 者と共に地域行事に参 加したり、地域のボラ ンティアの来訪で交流 するなど、運営推進 会議を活かしてサービ スの質の向上やスム ーズな運営につなげて いる。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃か ら連絡を密に取り、事 業所の実情やケアサー ビスの取組を積極的に 伝えながら協力関係 を築くよう取り組んで いる。</p>	<p>運営上で困った事等 がある時には常に相 談させて頂いており ます。</p>	<p>地域包括支援センター 職員が運営推進会議 に出席し、現状を把 握してもらった上で 相談したり助言を受 け、協働関係を築 けている。利用者 の利用状況での課 題や運営上の課題 があれば、電話や 窓口で、適宜相談 を行うようにして いる。</p>	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p>	<p>社内・外研修等にて職員への周知徹底を図っております。</p>	<p>身体拘束廃止マニュアルに身体拘束禁止規定を明示し拘束を行わない方針で取り組んでいる。毎月実施される研修の年間計画に組み込み、定期的に身体拘束廃止・虐待防止について学ぶ機会を持っている。身体拘束廃止・虐待防止については、法人全体で内容を検討し事業所内での研修実施に結び付けている。事業所内での研修は全職員が受講し理解と浸透を図ることができるように、同じ内容で数回実施し全職員で理解と実践に向けて取り組む姿勢がうかがえる。研修実施後には、研修レポートを全職員が提出するようになっており、研修内容の理解度・習熟度を管理者がレポートから把握し、職員一人ひとりに対して指導・助言を行うようにしている。身体拘束廃止・虐待防止について外部で実施される研修があれば、職員が参加できるように支援し、参加した職員が講師となり法人や事業所内で復講を行い、周知を図るようにしている。緊急時・危険時の制止の言葉には、特に注意を払うようにフロア会議で促している利用者のそれぞれのリスクを把握し状況を想定し、安全安楽に配慮した利用者の支援を行う事で拘束や虐待につながるようなことが無いように取り組んでいる。支援する中で拘束や虐待につながりそうな場面や言葉があれば、職員間で注意をしようようにしている。親しみと慣れとは違う事を十分に理解し、話し方・言葉かけには配慮するようにしている。</p>	
7		<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>上記同様に職員への周知徹底を図っております。</p>		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>各会議を通じて学ぶ機会を設けております。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>その都度時間を掛け、誤解のない様にご説明を行っております。</p>		
10	<p>6 ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議や家族会の場、面会時等にお聞きして反映する様に努めております。</p>	<p>家族会を開催し意見や要望・提案を聴取する機会としている。管理者に直接電話・メール連絡ができるようにしており、直接意見や要望・提案が出されるようになっている。各フロアのリーダーや職員に直接意見や要望・提案が出されることもある。意見箱の設置もしているが、現在まで出されることがない。</p>	
11	<p>7 ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>各会議にて意見・提案を聞く場を設け、常に改善に向けての取り組みをしている。</p>	<p>フロア会議、マネージャー会議、各委員会の会議の機会に職員から意見や提案が出されている。利用者・家族の食事の希望については、食事計画書・報告書で意見が出され情報共有すると共に利用者が楽しめるように対応を統一して行えるように取り組んでいる。各委員会でそれぞれの分野に応じた意見や提案が出され反映できるように話し合い・検討を行い反映させている。 利用者との馴染みの関係を大切に考えておりフロアの勤務移動は殆どない。法人内での職員移動も馴染みの関係を大切にしておき、移動は、必要最小限となるようにしている。入職した新入職者が長く勤務継続できるように、働く意欲の向上や資質の向上を目指し事業所・法人として支援している。</p>	

12	<p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各職員のスキルアップや資格取得に伴う手当等の設定にて就業環境の改善に努めております。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画に基づき全職員対象に内部研修を行っております。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>区内グループホーム連絡会を通じて更に質の向上への取組みを行っています。</p>		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居相談時から本人様との面談等を通じた情報収集により関係づくりに努めております。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>上記同様に対応しております。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>様々な専門機関との連携を図る事により対応出来る様に努めております。</p>		

18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご利用者様一人一人の得意不得意も考えながら、お手伝いやお願いごとをしていただいています。入居者様の思いに近づき共感し合える関係づくりをこれからも築いて行きたいと考えております。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族様の来庵時には入居者様の状況等をお伝えする事により情報の共有を図る様に努めております。</p>		
20	<p>8 ○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族様との連携により、ホームの生活にも馴染める様に段階的な取組等を行っております。</p>	<p>希望に応じて馴染みの商店や理美容院などが利用できるように支援し、馴染みの関係が継続できるように取り組んでいる。家族に馴染みの人や知人・友人との交流継続の意向を確認した上で、知人や友人との交流が継続できるように配慮している。知人や友人の来訪があれば気持ち良く面会してもらえるように周囲の雰囲気作りにも配慮している。</p>	
21	<p>○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員の関わり方により、その人らしく生活して頂ける様に努めております。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>当庵を退居されてからでも相談や出来る限りの支援は行っており、今後も継続したいと考えております。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時のアセスメントや観察等によりホームでの生活で反映出来る様、対応させて頂いております。</p>	<p>自ら思いや意向・希望を訴えることが可能な利用者については、日々のコミュニケーションの中で聞きとり、支援に活かしている。認知症の進行などにより、自ら思いや意向・希望を訴える事が難しい利用者については、日々関わる中で表情や行動から汲み取り把握に努めたり、可・不可、良い・悪い等簡単な言葉で表現できるように問いかけを工夫している。職員は利用者の表情や言葉に詳細に注意を払い、把握できた表情や言葉の変化を会議の席で共有するようにしている。焦点情報(私ができること・できないことシート)で「私の具体的な言動や場面」の欄に、利用者の言葉を記載し情報共有するようにしている。</p>	<p>把握できた利用者の思いや意向・希望を記録として残し情報共有すると共に、感情面に関する情報も情報共有し、個別の支援へ結びつける事が望ましい。</p>
24		<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<p>家族様や親戚の方等より情報を頂いたり、各機関各サマリー等を活用して把握しております。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>体調変化や水分摂取等の記録により現状の把握に努めております。</p>		

26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人様やご家族様の希望をプランに反映し、モニタリングでの評価を毎月行っております。</p>	<p>契約・利用開始時に得られた情報をフェースシートに整理・記載している。また、家族への質問事項で利用者の情報収集を行っている。焦点情報シートで利用者の状態を把握しアセスメントを行い施設サービス計画書を作成している。施設サービス計画書の援助内容のサービス内容に沿って利用者への支援を行っている。ニーズ・サービス内容の項目で毎月モニタリングを実施している。援助内容のサービス内容が日々実施できているか「ケア実施表」で確認・チェックが行われている。計画に沿って実施した利用者の状況や様子は、個別の介護記録と管理日誌に記載されている。</p>	<p>モニタリングを毎月実施し計画の変更の必要性について確認を行っていることは確認できるが、計画の変更・継続の根拠となる利用者の状況や変化などを明示することが望まれる。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>各記録や会議の活用により行っております。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>医療機関への通院や介護用品の一時使用や情報提供等の取組を行っております。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自治会主催のふれあい喫茶参加や図書館の利用、またボランティア受入等に取り組んでおります。</p>		

30 11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>往診及び通院時の対応等、本人及びご家族様の希望に沿った支援を行っております。</p>	<p>希望のかかりつけ医への受診ができるように支援しているが、殆どの利用者が週2回来訪される往診医の受診を受けている。往診の際には看護師の同行もあり、必要に応じて血液検査等も行われ、疾患・健康管理が行われている。往診時には、健康管理表に利用者の状態の情報提供や相談を記載して行い、往診の結果は指示事項に往診医が記載し、職員間で情報の共有を図っている。利用者の状態変化時には、いつでもかかりつけ医に連絡を取り、相談し指示を受けたり、往診や救急搬送など適切な対応を受けられる体制が整備されている。年1回の胸部レントゲン撮影も行っている。</p>	
31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>訪問看護師との連携により適切な支援を行っております。</p>	/	/
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時は病院の医療連携室や相談員との情報交換により早期退院に向け対応しております。</p>	/	/
33 12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前と契約時には家族様に当庵の方針を説明し同意を頂いております。</p>	<p>看取りに関する指針、重度化した場合の指針を明示し、契約時に説明し意向確認を行い同意を得ている。看取りの希望があり、医療との十分な連携が図られ家族の理解と協力の基に、支援する方針である。現在、重度化した場合、家族・主治医を交えて話し合いを繰り返し行ない、職員へも指針を基に説明を行い、統一した方針で支援するようにしている。</p>	

34	<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルや定期的な研修により対応しております。</p>		
35	<p>○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練実施や地域の協力体制の確保等に取り組んでおります。</p>	<p>災害マニュアルは地域の現状を捉えた避難・対応が明記された災害マニュアルが作成されている。緊急対応マニュアル、緊急連絡先等一覧が非常災害時いつでも持ち出せるように用意されている。現在、大阪府が発行している「社会福祉施設等における地震防災対応マニュアル」を基に現在災害時のマニュアルの見直しを行っている。運営推進会議の機会に地域の防災についても話し合いが行われている。避難・誘導訓練を消防署に来訪してもらい実施し、避難経路・場所など現状に即した方法が把握できている。隣接するタクシー会社に協力依頼を行っている。水の備蓄は事業所で行っている。地域の避難所の指定を受ければ、優先的に避難物資の提供を受けることができるようになる。</p>	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個人情報の管理の徹底や職員の雇用契約時に誓約書を交わしております。</p>	<p>個人情報開示・「プライバシー保護」「個人情報取り扱い」のマニュアルが作成され職員に周知されている。トイレ・入浴時に扉を閉める、カーテンを閉めるなどは当然のこととしてプライバシーへの配慮をしている。毎朝の朝礼や毎月のミーティング時に利用者のことで話し合いを行う場合には、周囲に話しが漏れないように配慮している。雇用契約書で個人情報保護や守秘義務について誓約書を交わしている。</p>	
----	---	--	---	--

37	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご本人様の意向に沿い出来る限り自己決定して頂ける環境作りを行っております。</p>		
38	<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>上記同様に取り組んでおります。</p>		
39	<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>本人の希望に沿って理髪店に行ったり化粧品類等を購入しに行く等の取り組みを行っております。</p>		
40 15	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>皆様の希望や好みを出出来る限りメニューに反映する等して取り組んでおり、リクエストメニューも取り入れていきます。</p>	<p>食材の提供を受け、各フロアで調理を行っている。利用開始時に利用者・家族から嗜好について聞き取りを行う他、日々の食事の場面で利用者の嗜好を摂取状況や会話の中から把握するようにしている。利用者の食べたい物の意見が出た場合には食材の提供を中止して利用者の希望を取り入れ、食事が楽しめるようにもしている。嚥下状態に課題のある利用者には、食事形態を検討し個別の状態にあわせた形態で提供している。外食や出前を取って食べる楽しみの機会も持っている。</p>	
41	<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>カロリーや栄養バランスに配慮した献立を提供し、個々に応じた形で提供を行っております。</p>		
42	<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後のうがい・歯磨きを行い、週1回の歯科往診等を行っております。</p>		

43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定時の声掛けやトイレ誘導の取組み等を行っております。</p>	<p>排泄チェック表を活用して一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を大切にされた支援を行っている。声かけや誘導を利用者の状況に応じて支援し、可能な限り排泄の自立に向けた支援を行っている。また、トイレ誘導時、安全確認後はトイレの外で見守る等プライバシーの確保や羞恥心の軽減に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分摂取量や排便管理を行い、乳性飲料を飲んで頂いたり運動を行う等で対応しております。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>基本的な入浴時間は有りますが、ひとり一人の希望に応じ対応しております。</p>	<p>基本的には週2～4回の入浴とし、利用者の生活習慣や希望、タイミングに合わせて入浴出来るよう支援しているが、希望により毎日でも入浴できるように支援している。入浴を嫌がる人には声かけ方法や職員を変える等の工夫を行っている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>昼寝の時間を設ける等個々の状態に合わせた対応を行っております。</p>		
47		<p>○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方薬の副作用や飲み方等は毎日、毎回注意して対応しております。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>ひとり一人の趣味趣向に合わせ、毎日を楽しく過ごせる取組を行っております。</p>		

49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>図書館の利用やドライブ、また定期的に自宅へ戻られたり等、外出支援に取り組んでおります。</p>	<p>日常的には、建物周囲の植え込みの花を見たり、近隣のスーパーへの買い物に出かけたりしている。自宅に帰りたい希望があれば、個別の外出支援で自宅を確認しに出かけるようにしている。また、希望があれば定期的に図書館に出かけ本を借りることができるようにも支援している。季節に応じた外出の年間計画も立て、季節を感じるようにしている。テレビの体操番組を利用して筋力低下予防に取り組み、外出可能な筋力の維持に努めている。利用者が外で過ごす機会が少ないと感じており、短時間でも利用者の体調に合わせて外気に触れる機会をより多く持つことができるように検討している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物を希望される時等は一緒に行く様にして対応しております。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族様からの電話を取り次いだり、入居者様から希望があれば支援しております。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ゆとりのある雰囲気づくりに取り組んでおります。</p>	<p>全館改装され窓からの採光・眺望も一層良くなたりビングはゆったりとしたスペースが確保されている。共有空間は清潔で機能的になっており、季節に応じた飾り付けを行い、落ち着きのある安心して過ごせる環境づくりになっている。フロアの中に共用スペースもあり、その日の気分によって静かにくつろぐ事が出来るようになっている。</p>	

53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>談話室でのテーブル位置やテラスを自由に使用して頂く等工夫しております。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みある持ち物の持ち込み等の支援を行っております。</p>	<p>居室には家族の写真・タンス等利用者が使い慣れた馴染みのものが持ち込まれ、環境の変化によるダメージの軽減に努めている。室内は利用者の希望を取り入れ安心して過ごせるように配慮されている。季節に応じた衣服の入れ替え時は利用者・家族の状況で職員が支援している。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>危機管理委員会を中心に安全な環境づくりに取り組んでおります。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	<p>①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない</p>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	<p>①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない</p>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない</p>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない</p>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない</p>

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない